

登録コード	E2642900	開講年度	2026				
授業科目	運動学演習					担当教員	渡辺 敏明
英文授業名	Seminar der sportlichen Bewegungslehre					副担当	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	火曜・3時限	対象学生	
講義室	教育W505講義室	教育第1体育館	授業形態	演習	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				・体育科・保健体育科教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観を習得することができる。		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				・教育活動を支え、実現する上で不可欠な運動学理論の専門的知識を理解し、技能を習得することができる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	運動学基礎の学修を踏まえ、運動を学習指導するための方法論について、具体的な「動感体験」の実習を通して理解していく。とくに、学習者が動き方のコツやカンを身に付けて「できる（運動発生）」ための動感提示を分かり易く行う能力の獲得を目指す。						
(5)授業計画	イントロダクション：スポーツ運動の学習指導を支える指導者の促発能力を認識する 運動観察の視点（運動構造の視点からの観察・動感の視点からの観察・形成位相の視点からの観察） 運動質を把握する視点(1)（マイネルの運動質を把握する8カテゴリー：局面構造・運動リズム・運動伝導） 運動質を把握する視点(2)（マイネルの運動質を把握する8カテゴリー：運動弾性・運動の先取り・運動の正確さ・運動の調和） 運動の技術とコツについて考える：偶発位相の様相をとらえる 運動の練習を有効化する様相化分析を認識する：運動を学習における様相変動をとらえる 運動の学習指導における運動観察の意義 移入観察力について考える：形態化位相の様相をとらえる 動感対話の交信能力について考える 運動の学習指導におけるキネステーズアナログンの意義 運動の苦手な学習者の学習指導について考える 運動の学習論理を理解する(1)：運動技術の学習論理 運動の学習論理を理解する(2)：ゲームの学習論理 まとめ：指導者に課せられた役割について考える 定期試験 課題レポート・授業アンケート						
(6)成績評価の方法	・成績評価の方法は、次の通りです。 人間の運動の特性や特徴について発生運動学の視点から理解することができたかどうかを課題提出物の内容と量で評価します（40％）。また体育やスポーツの実践で生じる運動問題をとらえるための視点を持つことができたかどうか、さらに学校体育や生涯スポーツ・競技スポーツの指導者として、学習者の運動を観察分析し、効果的な練習方法を構築するための促発指導の視点を持つことができたかどうかを「課題レポート（60％）」の内容で評価します。 ・得点率による評価基準は次の通りとします。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	（ ）問題（意識）の設定が適切であり、（ ）その問題の背景を説明できており、（ ）その問題にどのような課題があるのかを指摘できており、（ ）それらの課題に対しての既存の情報(知見)が提示する解決法が適切に把握できており、（ ）その上で自分の運動経験を踏まえた見解（分析内容）を提示できており、かつ、教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」。（ ）から（ ）の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「水準にある」。						
(8)事前事後学習の内容	この授業は90時間の学修を必要とする内容です。従って、60時間以上の時間外学習が必要となります。 【事前学習】 今回の授業に関連する語句を文献やインターネット等で事前に調べ、自分なりの問題意識や疑問点を持って授業に臨んでください。 【事後学習】 授業内容を振り返り、小レポートを作成してください（この積み重ねが最終レポートの質に直結します）。また、授業中に配布される資料を活用して十分に復習を行い、次の授業に備えて下さい。						
(9)履修上の注意	「運動学基礎」を受講していることが受講の条件となります。 授業では、実際に運動を行う実践場面や、ディスカッションや発表等で自分の考えを述べる場面が多くあるため主体的に参加すること。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	メール予約で随時、授業担当者の連絡先（toshiwa@shinshu-u.ac.jp）						
【教科書】	特になし（適宜プリントを配布する）						
【参考文献】	文部科学省（2017）中学校学習指導要領解説 保健体育編，文部科学省（2017）小学校学習指導要領解説 体育編，新しい体育授業の運動学（明和出版），教師のための運動学（大修館），コツとカンの運動学						

【参考文献】	(大修館)
--------	-------